

広島市植物公園

見どころ案内

シクシャ (ショウガ科)

香りがよくてランのような白い花が咲くことから、東南アジアで広く栽培され、生け花や首飾りなどに利用されます。そのため各地で野生化し、原産地がわからないとか。耐寒性があります。

ニクイロシクシャ (ショウガ科)

ヒマラヤから中国南部に分布するオレンジ色のシクシャです。耐寒性があり花が美しいので観賞用に栽培されます。

奇想天外

(ウェルウィッチア科)

アフリカのナミビア砂漠だけに分布する珍しい植物です。花が咲いています。

バナナ (バショウ科)

台湾バナナの実が熟れて黄色になりました。皮が赤いバナナや、種ありバナナも実がなっています。

トーチジンジャー (ショウガ科)

花の形がたいまつに似ているので名がつけました。原産地の東南アジアでは開花前の花を、スープやサラダにして食べるそうです。日本のミョウガに似ているそうです。ときに4mになる大型のショウガです。

コスツス・アフェル (ショウガ科またはオオホザキアヤメ科)

茎がらせん状になって、葉が階段のように並んでいます。熱帯アフリカ原産ですが、1986年に種苗交換でオランダのアムステルダム大学植物園から来ました。

タマアジサイ (ユキノシタ科)

つぼみが玉になる、おもしろいアジサイです。ピンポン玉の大きさになると玉がほどけるように花が咲きます。今なら花と玉の両方を見ることができます。

ツノゴマの仲間 (ツノゴマ科)

ツノゴマ、フラグランス、パルビフロラ、イビセラ・ルテアの花が咲いています。

ツノゴマは北アメリカ南部に分布し、角状の若い実はピクルスに利用されますが、実が熟れてはじけると、かたくて鋭いトゲ状になって地面にころがります。踏むといたいで、別名はタビビトナカセ。実の形から英名はユニコーンフラワー。悪魔の爪とも呼ばれるそうです。

オジギソウ (マメ科)

森のレストランさわると葉を閉じるのは知られていますが、日差しが強いときや、夜に、タヌキ寝入りすることはあまり知られていないようです。

タマノカンザシ (ユリ科)

中国原産のギボウシです。夜に甘く香ります。夕方、開く直前の花の香りがおすすめ。

サガリバナ (サガリバナ科)

夜咲いて翌朝には散ってしまいます。白い糸の束はおしべです。房の上から順に咲きます。大粒の真珠のような玉はつぼみです。

熱帯性スイレン (スイレン科)

昼咲きと夜咲きがあります。夜咲きスイレンには、「夜開性」の表示がついていて、昼間は花が閉じています。

